

開催日：令和 7 年 9 月 5 日

会議名：令和 7 年第 4 回定例会（第 2 日 9 月 5 日）

○西本ちかこ それでは、お許しをいただきましたので、私からは、1 点、学童保育の夏休みの昼食について、質問をさせていただきます。

学童保育における夏休み期間中の昼食提供は、近年、共働き世帯の増加や子どもの居場所づくりの観点から、国や報道でも取り上げられている重要な課題であると感じています。

こども家庭庁が 2023 年度に全国の自治体を対象とした学童保育における食事の提供について調査を行った結果によると、学童保育を実施している自治体 1,633 市区町村のうち、昼食提供を把握している 995 自治体、1 万 3,097 か所の学童保育のうち、事業所として昼食を提供しているのは 2,990 か所で 22.8% とありました。そのうち、事業所内部での調理、いわゆる自園調理が 552 か所、18.5%。事業所外部からの搬入のうち、主なものとして事業所による手配は 1,859 か所で 62.2%。保護者会による手配が 374 か所で 12.5% ということでした。

では、本市について、お伺いいたします。

夏休みなど長期休業中の学童保育における昼食について、どのように用意をし、食事を取っているのか、現在の状況と本市の取組について、お聞かせください。

○山㟢こども育成部長 保護者の皆様に準備を行っていただき、登室時に児童が持参しております。

○西本ちかこ こども家庭庁の調査では、全国各地で弁当や給食の導入など、多様な取組が報告されています。近隣自治体の事例について把握されていること、また、本市がどのようにアンケートに回答されたのか、お示しください。

○山㟢こども育成部長 箕面市や枚方市など、弁当事業者と連携して取り組んでいる事例がございます。本市は昼食を提供していないため、アンケートには回答しておりません。

○西本ちかこ 箕面市では、小学校全 14 校、枚方市では令和 6 年度の夏休みと冬休みの試行実施を経て、令和 7 年度、全 44 小学校に取組を拡大し、実施方法や事業の持続可能性の検証が現在行われています。さきのご答弁で昼食について、市の取組はしておらず、保護者が準備をし、児童が持参しているということですが、本市のある小学校では、保護者の方が主体となって弁当注文を集約、実施をしている

と伺いました。この取組が始まった経緯、実施校数及び利用者数、本市がどのように関わっているのかについて、お聞かせください。

○山㟢こども育成部長 開始の経緯は把握しておりませんが、保護者が主体となり運用開始され、2か所の学童保育室で実施されております。夏季休業期間中の1日当たり平均25人が利用されております。なお、現場の指導員が児童に弁当を配るなどの対応を除けば、市としての関与はございません。

○西本ちかこ 2か所実施校のうち、1校について保護者の方から伺いました。当初は弁当事業者が指導員と共に児童一人一人にお弁当を配付していたものの、年度当初の誤配送をきっかけに、保護者、指導員、担当課の三者会議が行われ、指導員の業務過多で保育に支障を来すとの理由で、現在は申込リストの提出や当番制の連絡体制など、多くの事務作業を保護者が担っており、負担感や今後の継続性に不安を抱く声があります。保護者の負担軽減に向けて、市として支援できることがあれば、お聞かせください。

○山㟢こども育成部長 引き続き保護者の皆様と意見交換を行ってまいります。

○西本ちかこ 保護者の方々からは、お弁当注文については学童保育事業に含まれていないことから、学童保育室以外の場所で新たに入室されるご家庭へ善意で説明書を本当に丁寧に作成し配付を行っておられます。申込フォームやスケジュール調整、代金集計システムを作成し、一覧表を学童保育室へ持参。また、輪番制でお一人が当番で立ち会い、お一人は不備があった際の連絡を受ける係として、当日連絡がつくようにされています。これまでこの作業を指導員がされていたのなら、それも大変であったことと理解をいたします。注文システムの構築に関わられた保護者の方々からは、学童指導員の方に任せるだけでなく、協力し合い、関わりを持てたことはよい経験で、大変さが分かったとの思いを持たれながらも、一方で、保護者同士で行っているため、間違えられない、迷惑をかけてはいけないという緊張感を持たれています。また、システム作成をされている保護者の方は、今年で退室学年ということもあります、継続への不安と負担軽減の要望があります。

あくまで保護者が自主的に始めたことというスタンスではなく、本市としての支援が必要ではないかと考えます。学童保育の長期休暇中の昼食提供について、今後の在り方をどのように考えておられますか、本市のお考えをお聞かせください。

○山㟢こども育成部長 市で弁当事業者等のあっせん及び手配業務等を実施することについて、現在のところその考えはございませんが、国の動向や学童保育を取り

巻く様々な諸課題を考慮した上で、他市先進事例等を踏まえ、研究してまいります。

○西本ちかこ 現在は2校ですが、お弁当を注文できるならしたいと思う保護者は、ほかの小学校にもいらっしゃることと思います。本市の学童保育室においては、教室や置場の確保など環境の整備、人員不足といった課題を認識しておりますが、あわせて、保護者や指導員の負担軽減をし、子どもが安心して昼食を取れる仕組みづくりにつきましても、保護者、指導員、お弁当事業者のお声を聞いていただき、前向きな検討を進めていただくよう、要望をいたします。

箕面市では、予約システムを委託事業者に運営されているようですが、お弁当価格にもその分反映されていると思いますので、それに限らず、できるだけ近隣のお弁当事業者で、また保護者の方が利用しやすい、できるだけシンプルな方法を聞き取り、検証、検討いただくことも要望し、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。